

毎年、文化祭で生徒が企画している『蟲部屋』。その一角を借りて、教員展示として写真を飾らせてもらっている。毎年、何をテーマにしようかなと悩むのだが、今年は東京のカエル探しに力を入れていたので、**テーマはカエルで即決まり（カエルも「蟲」です）**。ここ数年で東京各地で撮影したカエルたちの写真を展示して、ついでに『東京カエル総選挙』なるものをやってみた。来場した人に、11種類いる東京のカエルから1種選んでもらい投票してもらった。**2日間で142票**。ご協力いただきありがとうございました。その結果は…以下の通りだ。

【東京カエル総選挙 結果発表】（計142票）

「※」は過去にそのカエルを紹介したいきもの記

1位	トウキョウダルマガエル（30票）	※Vol.159（今号）
2位	ヒガシニホンアマガエル（26票）	※Vol.148
3位	モリアオガエル（17票）	※Vol.113
4位	カジカガエル（15票）	※Vol.156
4位	アズマヒキガエル（15票）	※Vol.20,46,47,57,70,71,87,100,101,144,145
6位	ムカシツチガエル（12票）	
7位	シュレーゲルアオガエル（9票）	
8位	タゴガエル（7票）	※Vol.48,104
8位	ナガレタゴガエル（7票）	※Vol.135
10位	ニホンアカガエル（3票）	※Vol.21,26,72,102,134
11位	ヤマアカガエル（1票）	

なお、見ていただいた外部の方も言っていたが、写真を見て投票する以上、ぼくの写真の出来栄がだいぶ影響している。だからカエルたちの人気投票というよりは、展示された「写真」に対する投票だ。**カエルは全部かわいいから優秀なし！**また、**繁殖期の姿**（鳴いてる様子や抱きついてる様子）を撮影するという、謎のこだわりの自分ルールがあるので、ヤマアカガエルだけ文化祭に間に合わなかった（ヤマアカは写真が無いから圧倒的に不利なのになぜ1票入った?!）。

ダルマガエルが1位なのは正直意外だった。きっとモリアオガエルが人気なんだろうなと思っていたからだ（いきもの記でモリアオを紹介した号が人気だったから）。ダルマを選んだ理由は、「両頬が膨らんでいる姿がかわいいから」というものが多かった。2位のアマガエルは、「身近な存在だから」という、**自分でも見たことがある**という要素が大きかったという意見が多かった。思ったよりも票が割れて、「圧倒的に人気！」みたいな存在が無かったのも面白かった。見てくれた人が、「11種類もいるんだあ!」「かわいい!」「いやかわいくは…ない!」など写真を前に色々話してくれてとても面白かった。協力してくれた方々、ありがとうございました。（余談：いきもの記で紹介できていないのはあと3種。今年度中にコンプリートできるかな?!）



文化祭で蟲部屋の一角を借りて行った東京カエル総選挙の様子

今年はいつもより気合を入れて展示をさせてもらった。東京では、11種の在来カエルがすべて絶滅危惧種に指定されている。そもそも11種もいることを知らない人が多かったので、いつ絶滅するかも分からないカエルたちの姿を紹介することができて良かった。



蓮池で鳴くトウキョウダルマガエル *Pelophylax porosus porosus* のオス

水に浮かびながら両頬を膨らませてンゲゲゲッと鳴く。鳴き声が聞こえてもなかなか鳴く姿を見せてくれない。東京の名がつくが東京以外にもおり、大雑把に長野県より東側に生息している。西日本には見た目が非常によく似たトノサマガエルがいる。名古屋には亜種のナゴヤダルマガエルがいる。田んぼの減少と共に激減している。



（上）茶色っぽい個体。栃木県 7月。



（右上）緑色のラインが入る個体。光が当たると体色が金色っぽく見えてとても美しい。長野県安曇野市 6月。



（右下）上陸したばかりの幼体2匹。栃木県 7月。